取扱説明書

2002/12/10①

*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を他の第三者へ譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

トップブリッジマウントデコンプキット	適応車種	商品NO.
	SR400/500 ('85～'02) 専用	45515

この度はデイトナ「トップブリッジマウントデコンプキット」を、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談下さい。

〈特徴〉

- 純正トップブリッジ＋セパハン仕様で、トップブリッジにポッカリ空いたハンドルポストの穴に装着するデコンプキット。
- アルミ削り出しで、レバー＆ホルダー表面はバフ仕上げ。トップブリッジ回りのドレスアップ効果抜群！
- レバーを引いた状態を保持する機能付で、デコンプ作業が容易になりました。
- レバー比が１：１になるため、純正と比べるとタッチが硬くなります。
- 別売ハンドルポストキャップ（45148）￥1,800 と同デザインで同時装着のマッチングもＧＯＯＤ！

〈商品内容〉

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	レバー/デコンプ		1	③	ワッシャ/デコンプ		1
②	ホルダー/デコンプ		1	④	六角穴付ボルト	Ｍ５ｘ８	2

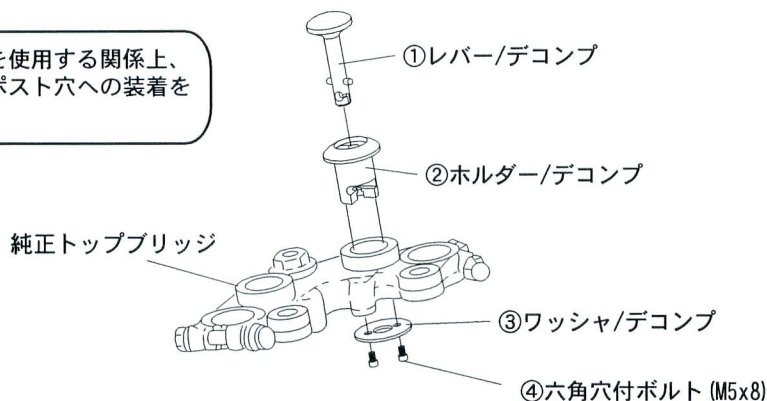
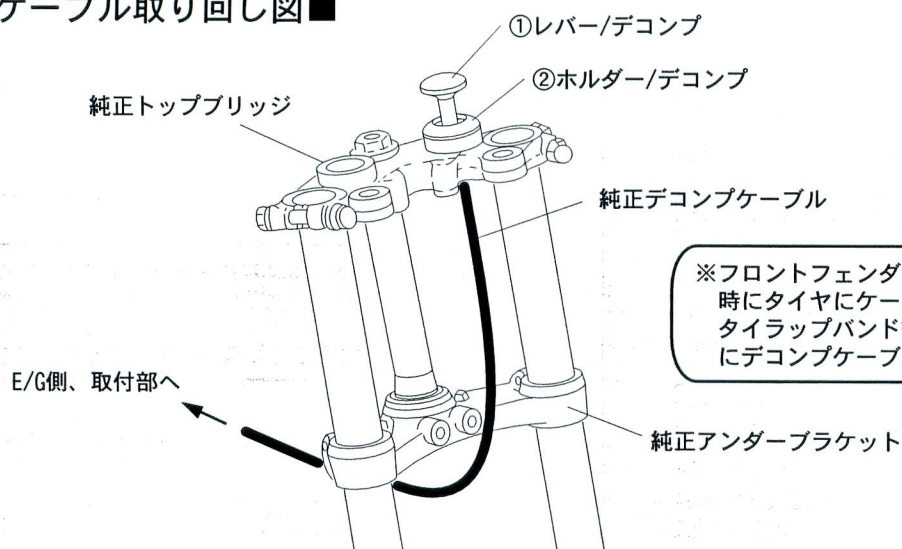
⚠注意

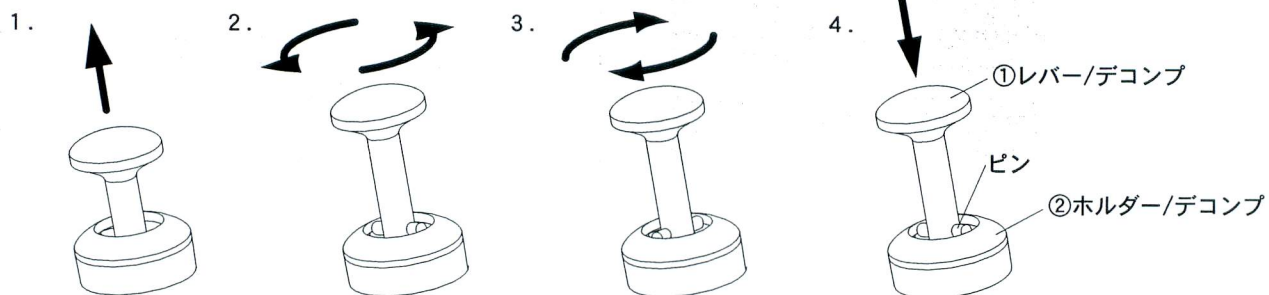
- この商品は、純正トップブリッジ＋セパハン仕様の車輌のみ装着できます。ハンドルポストを使用したパイプハンドル装着車には同時装着できませんので、予めご了承ください。
- この商品は表面をバフ処理してあります。商品の形状上、バフ粉(黒い磨き粉)が溜まりやすくなっております。商品出荷時にバフ粉を落としていますが、中には取りきれていない物もあります。残っている場合は爪楊枝や、柔らかい布等でバフ粉を落として下さい。尚、バフ粉の落ちていない商品についてのクレームは、クレームの対象外となりますので、予めご了承下さい。
- この商品はフォークトップキャップや、ハンドルポストキャップと同デザインですので
  デイトナ製　フォークトップキャップ<94/6 以降車輌用>　(42430)　￥2,500/２ヶ１ｾｯﾄ
  　　　　　　ハンドルポストキャップ　(45148)　￥1,800/１ヶ売り
  との組み合わせもお奨めします。
- デコンプキットの表面処理は、バフ仕上げのみを施してあります。従ってメンテナンスせずに放置しますと、表面が酸化して変色しますので、定期的にアルミ金属磨き剤で磨いてください。
- 取り付けは確実に行って下さい。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使用して所定トルクで確実に締め付けて下さい。
- 取り付け後、約１００ｋｍ走行しましたら、各部を点検してネジ部の増し締めを行って下さい。その後は５００ｋｍ毎に必ず点検し、同様の増し締めを行って下さい。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車輌を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行って下さい。
- この商品は、記載されている適応車種以外の車輌には使用しないで下さい。
- この商品は予告なしに仕様や価格の変更をする場合があります。また、文中にご紹介した商品についても同様です。予めご了承下さい。

■取り付け手順

1. 車体から、純正デコンプケーブルを取り外します。
2. ①レバーを②ホルダーに差し込み、純正デコンプケーブルを①レバーと②ホルダーにセットします。
3. 手順２.で組んだ①レバー、②ホルダー、ケーブルをトップブリッジ左側のハンドルポストの穴に差し込みます。
   (※右側への装着も可能ですが､純正デコンプケーブルの長さの関係上、左側のポスト穴への装着をお奨めします。)
4. トップブリッジ裏側から出た、純正デコンプケーブルに③ワッシャを通します。
5. トップブリッジ裏側で③ワッシャと②ホルダーを④ボルトにて取り付けます。
6. ケーブル取り回し図を参照して、ケーブルを取り回し、エンジン側の取り付け部にてデコンプケーブルを取り付けます。
7. レバーの作動を確認して作業は完了です。

■取付け詳細図■

※純正のデコンプケーブルを使用する関係上、向かって左側のハンドルポスト穴への装着をお奨めします。

■ケーブル取り回し図■

※フロントフェンダー未装着車はフルボトム時にタイヤにケーブルが干渉しない様、タイラップバンド等でアンダーブラケットにデコンプケーブルを近づけて下さい。

■作動手順■

1．①レバーを手前に引きます。
2．②ホルダー溝部から①レバーのピンが出てきたところで、①レバー本体を９０度ひねります。
　この状態のまま、デコンプ作業を行います。
3．エンジンが圧縮上死点になったのを確認して、①レバーを９０度戻します。
4．①レバーのピンを②ホルダーの溝部に入れます。
5．キックペダルを蹴ってエンジンを始動させます。エンジンがかからない場合は１～５の作業を繰り返して下さい。
6．エンジンが始動したら作業は完了です。

株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805

本書の記載内容の一部または全部を無断転載することは禁じます。

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、「フリーダイヤルお客様相談窓口」０１２０－６０－４９５５までお願い致します。